



2024年8月28日

各位

会社名 GFA株式会社
代表者名 代表取締役社長 片田 朋希
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

(開示事項の経過) 青島磊鑫集团有限公司との戦略的業務連携の推進に関するお知らせ

～中国の青島地域における美容医療領域の新規事業プロジェクト実施に向けて～

当社は、青島磊鑫集团有限公司（以下、「青島社」といいます。）と連携し、中国の青島地域において、美容医療領域の新規事業における戦略的パートナー協定を本日締結しましたので、以下のとおり、お知らせいたします。

記

1. 戦略的パートナー協定の背景

当社は、2024年5月13日付の開示「青島磊鑫集团有限公司との戦略的業務連携の推進に関するお知らせ」のとおり、青島社と連携し、中国の青島地域において、美容医療領域の新規事業における戦略的業務連携を推進するため、両社で協議を行ってきました。

2024年6月11日には中国 青島市において、「青島・日本の美容産業を繋ぐ政策会議」参加のため、当社代表をはじめとした代表団として表敬訪問しており、青島市、青島市工商連合会、青島市総商工会議所会と各所会談を実施しております。

会談のなかで、青島総商工会議所は日本の北京総商工会議所と友好商工会議所協定を締結し、また当社は青島市工商連合会と本件における協力の枠組みに関して包括的な協定を行っております。

現地視察及び会議を通して、青島のビジネス環境も再確認し、青島社と連携して、青島市、青島総商工会議所などとも協議を継続に行いながら、具体的にも協議内容を実装していくため、青島社と本件協定を締結することとなりました。

2. 戦略的パートナー協定の内容

以下、包括的な協力内容で両社の美容医療サービス分野におけるノウハウや協業関係を強化していくことを目的としています。

- (1) 当社の美容脱毛専門サロンの運営ノウハウなどを青島社が計画する美容医療サービスの提供に従事させ、中国の実情に見合った美容医療の提供サービスを共同研究・マーケティングし、サービスの品質と効率を向上させていく。
- (2) 青島社が青島エリア内に新規事業として、美容医療関連サービスを提供できる産業施設等の建設計画を進行させるため、当社はこれまでに自社で培った空間プロデュース及び美容医療経営ノウハウを注入することにより、官民連携したプロジェクトとして両社で推進していく。

また、両社で本プロジェクトに係る美容医療協力委員会を設立し、協力過程の問題なども協議していく枠組みを構築していく予定です。

2. に関しては、現在、当社と青島社に加えて、美容脱毛サロンを運営するミュゼプラチナム株式会社とも連携し、現地法人を当社、青島社、ミュゼプラチナム株式会社の3社で合弁会社設立することなども具体的に協議をしています。

ミュゼプラチナム株式会社については、昨年に当社運営の美容脱毛サロン事業を譲渡した先で、当社と事業連携している先でもあります。

3. 戦略的パートナー協定の相手先概要

(1)	名 称	青島磊鑫集团有限公司	
(2)	所 在 地	青島市黒龍江中路城陽段一号	
(3)	代表者の役職・氏名	法定代表人 胡崇胜	
(4)	事 業 内 容	混凝土事業：商品混凝土及び混凝土製品の生産および加工 建材事業：新型建材の製造販売 建設廃棄物処理事業：建築廃棄物の综合利用・処理 不動産開発事業：不動産の開発販売 輸送事業：物流・運送業務 自動車修理事業：自動車の修理及び保守サービス 爆破事業：爆破作業及び関連サービス 広告事業：広告制作及び宣伝活動	
(5)	資 本 金	1.76 億元（日本円換算：約 38.6 億円）	
(6)	設 立 年	1993 年 10 月 8 日	
(7)	大株主及び持株比率	磊鑫集团有限公司 95.00% 他株主 5.00%	
(8)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
		人 的 関 係	該当事項はありません。
		取 引 関 係	該当事項はありません。
		関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。
(9)	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	相手先の意向により、非開示とさせていただきます。	

青島社は、青島に拠点を置く磊鑫集团有限公司の子会社であり、磊鑫集团有限公司は 1980 年に設立以来、コンクリート会社、建材会社などを営み、建設廃棄物処理センターなど資源活用の施設も有し、不動産開発会社、運送会社、自動車修理工場、広告会社など多角的な経営を行っている企業グループです。

同社の子会社である、青島社は青島市の城陽区とハイテクゾーンで省最大の商業用コンクリート及びコンクリート製品の生産を行っています。大規模な生産・加工拠点を建設し、現在合計6つの生産ラインを保有し、青島ハイテク区にある 14 万平方メートルの雷新集団新素材工業団地の建設にも投資しています。

4. 今後の見通し及び事業開始時期について

今後、両社で実施していく具体的な協業に関しては、詳細が固まり次第、速やかにお知らせいたします。本事業の具体的な開始時期につきましては 2024 年 10 月を開始予定に協議を進めております。

本事業が当社の 2025 年 3 月期の連結業績に与える影響につきましては軽微である見込みですが、2026 年 3 月期以降については精査中であります。

以 上